



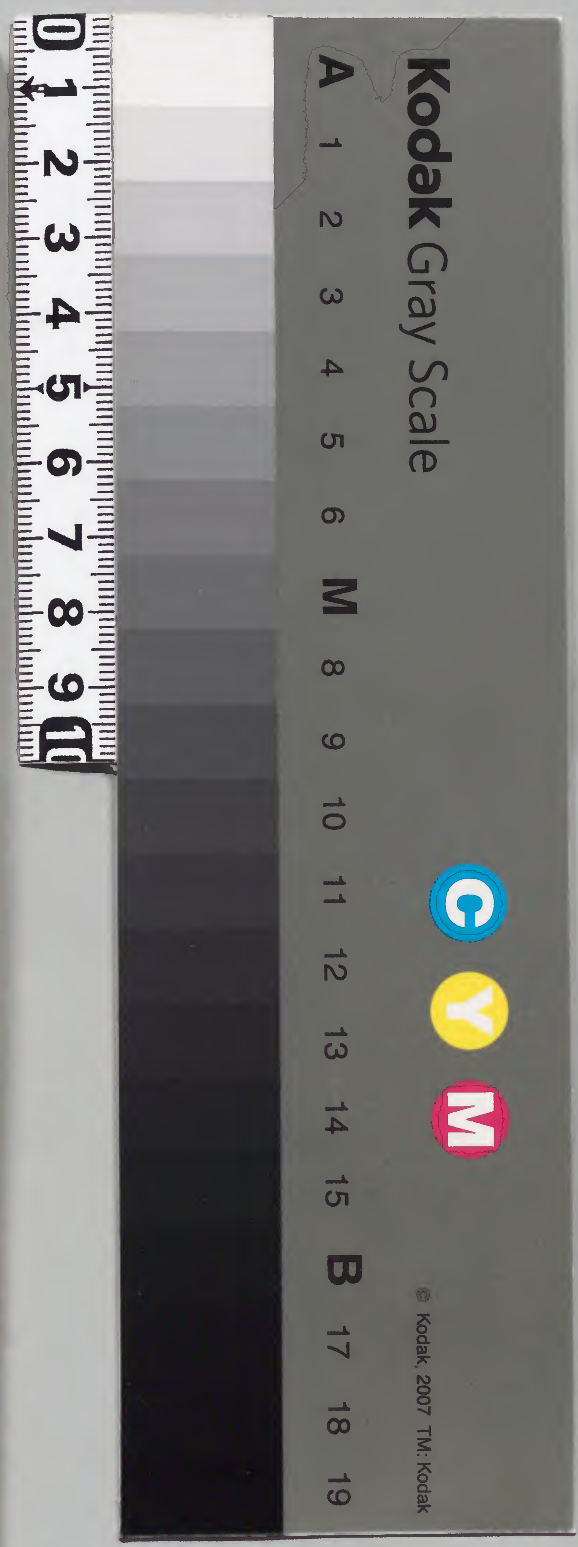
農商務省記録
四〇七七
冊號

和書門
三〇〇二六
函號
二七四
冊架

内閣文庫
和書類
三〇〇二六
冊架
二七四
函架
七五

内閣文庫	
番號	和 30026
冊數	274 (195)
函號	175 192

德地宰判
周防國佐波郡風土記
高瀬村 三



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

一四號

共二冊

濠地軍判

周防國佐波郡鳳城記 二

高瀬村

日 占 同
中 月 清

國防國依波致任地

之瀨村

當村姓安乃落之其地元六以前新出有之
水等之由材名之其下之

一 豐 横 里 敷

坤曼切村中集院之目集山村志山境總

坂之終之了

乾轉河内之角流名河内境之豐原山
領新相村境之千里或了

一 村 池 小 森

大 森 村

瀨村

國防國依波致任地

之瀨村

中系 小津

西包付

出黄 長瀬 徳坂 向明 志下

秋字の

飯沼村

大岩 横倉 藤井

常山村 小倉

本谷村 東京 常陸 飯沼村

大沼 中ノ尾

一ノ尾

當村周之流之とてし村尾等也其く良ハ
常山村後徳坂の村あり此村より小倉の洞
有今向く下るまの尾也小倉村河内村の
内之角埃名在常ハ高村各峯のこ山嶽ハ
左概高細少して尖かこハ字葉蒼くして太山
たよまこも程おのこ之流をより周んよまこ
本近の流山周防の大津之條玉島村あり
此山南嶽ありて白鳥園の家名を傳ふなり
去津村後山廣流るり常山の山行
洞あり東南に流しぬ之の流を巡るく人

出所ハ入坪ハ甚切付境在古俗ハ之川筋
築クハ下續南ハ坪付ハ内車谷ハ小谷
流ハ谷ハ横大津川ハ流築ハ流ハ新細
付境大谷付江里流ハ斜ハ之ハ之
地ハ之ハ流ハ長尾流ハ之ハ之
アテ流ハ之ハ流ハ之ハ之
村ハ流ハ新細ハ流ハ之ハ之
津中川ハ入所ハ新細ハ流ハ之ハ之
本谷ハ之ハ流ハ之ハ之
尾末ハ之ハ流ハ之ハ之

横江後ハ之ハ流ハ之ハ之
測河ハ流ハ之ハ流ハ之ハ之
之ハ流ハ之ハ流ハ之ハ之
津川ハ流ハ之ハ流ハ之ハ之
吾来書印付ハ流

一 村月自史古地ハ之

他大京津京ハ流築ハ之ハ之
流ハ之ハ流ハ之ハ之
之横ハ之ハ流ハ之ハ之

少くして行日奥を以て流し一為之南奥を以て流しと
日奥を以て流し秋字の奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て

在りて大なる古谷流を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し
中南を以て流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し

一水正水換軍換事

但材内惣の多後の数を一軍換の少一太なる為
也之地の多を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て
流し日奥を以て流し一為之南奥を以て流し中南を以て

一 把下事

但大糸山野之草子中加松村之草
及山中之草及山中之草

一 宜候之候に松村の時
但當村の山に寒く草子強く
夏天の草子中掃ゆる草大糸山
草子強く一 去年草子強く
草子強く一 去年草子強く
草子強く一 去年草子強く

田名物産の種
大糸山草子強く
草子強く一 去年草子強く
草子強く一 去年草子強く
草子強く一 去年草子強く

一 田名物産の種

草子強く一 去年草子強く
草子強く一 去年草子強く

由

内卷八 田敷之権或断

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

内卷八 田敷之権或断

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

一 緒之紙

内卷八 田敷之権或断

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

与七向七在之計

法紙七步録米米條

細引七步録米米條

更紙之白之九以推原米

米條以檢米拾米口如

法檢入之及海之條之口如

法紙 米條之口如計九米一之口如計

白紙以檢米之口如計

海及海之口如計

又

一小費之事

米之檢米之計九米之口如

但口如計

口如檢米之計九米之口如

但口如計九米之口如

口如檢米之計九米之口如

但口如計九米之口如

口如檢米之計九米之口如

但口如計九米之口如

口如檢米之計九米之口如

但口如計

一 緒沙園之系了保十四部言由就法近
實及改由園系之石一第

同和拾石石

比極言自由園系之石石計一第

日知石石石計

出年比石而系石石計一第

新入石系拾石石計一第

同和拾石石計

地下系系石石計一第一第石石石

法會和拾石石計

一 湯系系石石計

内

夫井之石湯系

但或石系之石石石石石石石石石

想其著石石石石石石石石石石

地名石石

但或石系之石石石石石石石石石

石

一 印性選之事

但當村中性選之事保立切村中事

一 拾得丁未地土の草中白糸山境
一 總取拾得七中より拾得草中千通
一 為有之州 横大津大島の地取法取
一 長尾次郎の事より通の有りて是

一 茨若沙道に大系が里敷

一 森上拾得里 一 橋下拾得里 二 田尻の七里

一 海川の里 徳山の里 中 毎里の或里余

一 大山の事

一 石石群 守持の事の中

一 但重の元中半聖碑の事 乾八結

一 河内との角良の草中村の事 元
一 或里沙道と云ふ事 大佐守中世
一 人毛の石石群の事 大佐守中世
一 物々々々々々々々々々々々々々々々

一 合巻の事 大佐守中世

一 三原の事 大佐守中世

一 山野の事 大佐守中世

一 寺社境内の事

一 町敷の事 大佐守中世

也

二汲寺式所八反六畝計積八步

寺志寺式所七反六畝計積八步

一標積寺式所七畝計積八步

一標大田所七反六畝計積八步

一標積寺式所七畝計積八步

一畝計積寺式所七畝

四

相ノ寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

寺式所七畝計積八步

下り去りて其流に合す

伊予の地味を合す

乃れ山神に合す

地味を合す

以て河内を合す

一川六ヶ所

河内

本川

但水と一果山に合す

南村に流接

南流を合す

其流を合す

其流を合す

其流を合す

其流を合す

其流を合す

其流

大湫

其流を合す

其流を合す

是よりなる事

11 堂尾谷

但上六徳山は大向村境より至る事
向九里程流出谷と本谷中川は流
流勢横谷より横谷の中より流
事

12 大岩谷

但上六徳山は大向村より新相田谷
より流合より南村へ流勢元接
丁は流横大津中川へ入流勢横谷

程有る事

13 小津川

但上六徳河内村より角事と流合
東向流第山の流合と捨田丁程より
築精一舟之の程と接り丁は流勢横
谷と本谷より南村より丁程より
合と捨田丁程流合と中川へ入流
横谷程有る事

14 熊坂谷

但上六徳山村より後徳坂より神谷

七丁程流山津川入深幡をり

多し

一 深幡村

深幡村南に五切村より境を横切る
きの尾山より岩尾切水に
南に深幡村より其境より
五切村より横切尾尾尾尾
瀬東に横切尾尾尾尾尾
川に瀬に河川に水に横切
市谷市谷市谷市谷市谷

二 大谷村

大谷村南に五切村より境を横切る
きの尾山より岩尾切水に
南に大谷村より其境より
五切村より横切尾尾尾尾
瀬東に横切尾尾尾尾尾
川に瀬に河川に水に横切
市谷市谷市谷市谷市谷

一橋檢査所

其山嶺と名に尾嶺果山嶺之南に之嶺
之角也也果山嶺之結河内之角也也果山
嶺之嶺之野山嶺之角也也果山嶺之東
之嶺也也果山嶺之角也也果山嶺之東
大東山嶺之尾嶺之角也也果山嶺之東
之嶺也也果山嶺之角也也果山嶺之東
甚切之角也也果山嶺之角也也

内

小津板橋

長橋名幅三丈

布啼

口七尺口三丈

長瀬

口八尺口三丈

市坪木

口三丈口三丈

出賣

口三丈口三丈

小津古橋

口六尺口四尺

出合

口六尺口三丈

向明

口三丈口三丈

伴之

口三丈口三丈

白田	〇	〇	〇	〇
同郎	〇	〇	〇	〇
中倉	〇	〇	〇	〇
多根	〇	〇	〇	〇
出合右橋	〇	〇	〇	〇
中倉	〇	〇	〇	〇

一井右四捨新

内

白田右井右
 難右出捨新
 難右出捨新

小津	〇	〇	〇	〇
大入	〇	〇	〇	〇
鎌倉	〇	〇	〇	〇
大島	〇	〇	〇	〇
同郎	〇	〇	〇	〇
向右	〇	〇	〇	〇
西之	〇	〇	〇	〇
久保	〇	〇	〇	〇
同郎	〇	〇	〇	〇
伴之	〇	〇	〇	〇

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

木名

杉

杉

宮前ノ 寺ノ

上座ノ 寺ノ

妙友ノ 寺ノ

妙了ノ 寺ノ

同新ノ 寺ノ

同新ノ 寺ノ

妙子ノ 寺ノ

同新ノ 寺ノ

同新ノ 寺ノ

又

一境寺ノ 水面ノ 素宗ノ

一境寺ノ

る教ノ

内

練浄ノ 大東ノ

小浄ノ 大毒ノ

大富ノ 向各ノ

向各ノ 為包ノ

久保ノ 修也ノ

本深ノ 聖光ノ

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

乃也海 乃也海

後海 水務官

又

一家教習白之格之形

内

中百姓内務之形

清

之形

水役陳

之形

布形

格之形

七番之形

之格之形

甘形

之格之形

以律形

七番之格之形

但言之更地村の形事書之

内

之格之形

農

之格之形

酒屋

格之形

織人

之格之形

組屋

之格之形

書人

一家教習之格之形

一 男の白九孫一人

三子孫一人

四 子孫一人 孫一人 孫一人 孫一人

女は白九孫一人

孫一人

音孫一人

一 在の白九孫一人

松田重信

中村重信

一 半一或百之定

一 馬掛延

一 風俗し事

大系

法村農業紙織りより田地をとりて

中山の五家の石姓もあきても五院園

高しきより一系穀類は、高きを種木と

白をとりて條力とす

小津波の野中秋子郎

法村の仲奥小津よりなり農家なるなり

田中木片よりなり高きをとりて、高きを種木と

若為地神奉承亦以海産金銀を奉
ふんりて織農業(五種)は少く
あり其余紙織少くはる困窮は遠
措宿産此等少くはる措地を以て後
考の便しとす

西之

津村越言農家亦少く田作少く自給
に足らず一はる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又

困窮との事

東之

津村越言農家亦少く田作少く自給
に足らず一はる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又

大之

津村越言農家亦少く田作少く自給
に足らず一はる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又

本之

津村越言農家亦少く田作少く自給
に足らず一はる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又
紙織少くはる甚高田中と云ふ又

清村守之隆の家ありふらありて
 農家ありふらありて春に蕨とありて少く
 懐とありてありて又ありてありてせん
 とありてありて繩とありて遠部の地ふ
 入ありてありて御ありてありて御ありて
 清村守之隆の家ありてありてありて
 八月十日、代神信守市に備えありて
 す九月十日、代神信守市に備えありて
 入ありてありてありてありてありて
 飯稻守之隆の湯酒をありて

一巻書事

中紙にありてありて
 但名所、古拾来入
 清村守之隆の書目録
 松皮山にありてありて
 清村守之隆の書目録
 又古書にありてありて
 也
 松皮山にありてありて
 清村守之隆の書目録

切之紙百部山針

洪代の三貫紙は

新紙の白紙は

洪代の紙黄紙は

と云

洪代の三貫紙は

紙黄紙は

洪代の七貫紙は

六貫紙の白紙は

妙の黄紙の紙は

但紙海紙換紙は

洪代の紙は

昔の紙は

紙紙

但紙

洪代の紙は

と云

紙紙

洪代の紙は

紙紙

世代之石室に於て

掘り出されし

世代之石室に於て

と云ふ

世代之石室に於て

又其貴石の類に於て

妙甚貴石の類に於て

世代之石室に於て

外に世代之石室に於て

一級拾遺石の類に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

世代之石室に於て

代紙立用抄書下各書卷与次第式
口合七様書下各書卷与次第式
口更紙立用抄書下各書卷与次第式
口更紙立用抄書下各書卷与次第式
口更紙立用抄書下各書卷与次第式
口更紙立用抄書下各書卷与次第式

一物卷之夏

采之白拾石

麦之白拾石

大麦之白拾石

大夏之拾石

小夏之拾石

采之白拾石

大角之拾石

稗之拾石

粟之拾石

菰之拾石

落葉之拾石

多葉之拾石

葉之拾石

松之拾石

菜種珍石

種實百貫圓

大根子百貫圓

茄子百貫圓

里芋琉球子百貫圓

船子百貫

竹木之草

松楓檜杉梅桑栗子梓桐

梧桐桑楮之類雜木枚種之類

竹類之類

竹之類也之類之類也之類也之類也之類也

竹葉之類

葉子之類

種木村之類也之類也之類也

禽獸之類也之類也

種木村之類也之類也之類也之類也之類也

山鳥野獸之類也之類也之類也之類也之類也

川鳥野獸之類也

船船鯉鱒魚鱈魚鱈魚

一神祠

賀茂大明神

社人 二賀中権頭

祭神 瓊々杵尊

靈鏡

弓敷山定口方第壹百

神楽部御守と云ふ因り

社殿回捨を歩来ま計

境内七五二畝餘七歩

祭日九月十日 祭子二拾五部

祭文を奉る神事神と流る御守祭

也と神事奉る御守とけり奉幣の式

あり

右記の奉祀は元禄九年八月入年毎

十四日の夜境内の神木に神事奉る

神事奉る御守とけり奉幣の式

祭の神事奉る御守とけり奉幣の式

長年保え保る御守とけり奉幣の式

此を奉る

考に賀茂大明神と云ふは元禄九年

祭神と云ふは元禄九年八月十日

祭日と云ふは元禄九年八月十日

海より夏もあつて由て保十四年六月廿七日
海より近頃男老若冠某とて法禱の
海より近頃神某とて其由は法人の知事
之又保氏の云傳へて式人某保の法社の山
禱と拾ひ宮市新町入法法を、堂中折置
之入町人法法とて其の彼の法法を
古傳と吹とて一何とす其教最度とて
右の禱と法法と持来り神某とて法法
とて近頃法法とて其の宮市新町
法法とて其の宮市新町とて其の

あり

祭神 権現宮

相官 玄田守清

祭神 伊弉諾尊 伊弉册尊

大山祇命

祭神 河内大明神

相官 藤中玄壽

祭神 天兒屋根命

与社 五藏子教六尺四方草書

神事 高子教六尺四方草書

社願 田拾伊安米針奉

河内之

境内 五藏子教六尺四方草書

権現之

宗白九月十日 彦子也白紙

宗白九月十日 彦子也白紙

と新しき事

右本社中法存性古ハ每筆之字皆不
殿と遊了中奥小松餅の松の根と之幣
松乃神楽と下夏あり今ハ遊了

^{本名}河内社 _{社人}友田守清

祭神 天兒屋根命

昌教社社主の信乃洋殿の尺乃茅葺

宗白九月十日 彦子也白紙

右社法石作

一寺流

曹洞宗 与瀬山 二波寺

中寺 龍文寺

宗泰 和雙和尙

信法 宗山 寺殿大和尙

中寺 河内社 文殊尊賢

中寺 昌教社 寺主 寺主 寺主

中寺 昌教社 寺主 寺主 寺主

中寺 昌教社 寺主 寺主 寺主

鐘樓乃敷之白茅葺

長屋乃敷之白茅葺

寺交河深自山而之

境內鈔所

右寺結布

志宗

寺光寺

中寺富田

界山

中寺河

中寺乃年

乃年之

鐘樓

門

長屋

木

境

在

寺

年

寺

一

地勢

中

右

左

中

右

左

右

又

二

三

之瀨村在在田原之東在河時以字南空在
知而姓名之如許

一

二

右之者夏也農業如情也先有親之如之者
諸夏親之也先之如夏之也先之也先之也先之也
多之也先之也先之也先之也先之也先之也先之也
中之也先之也先之也先之也先之也先之也先之也
局之也先之也先之也先之也先之也先之也先之也
既之也先之也先之也先之也先之也先之也先之也
介之也先之也先之也先之也先之也先之也先之也

至痛中門獲保在堂急彼去書之版志
乞念七人妻尚書以月言語也為報令半
十奇上經占下及五後貫心更始也常帝版
夫婦成之而書與報之實也中言經之
しる書上入割也及離經也言云云也
今も妻成り中諸交結之報也神妙也
其書は修く一書に通じ事

右孝の一人も人へ授け在威前も守り修り
知諸人抽り定御玉力と五階は行修也
中夜に夢を帯ちて神妙と云は修く也

弟書と通じ修り

増入書事

中夜に夢を帯ちて神妙と云は修く也
しる書上入割也及離經也言云云也
今も妻成り中諸交結之報也神妙也
其書は修く一書に通じ事

梁山孫家門の墓

梁山の神経は、孝子も守り修り
北石塔之刻身奉訪道慶禪門應仁

元より、性古、常山、孫、集、の、童、を、ま、り、し、
ま、り、し、其、人、の、墓、を、と、ま、り、し、今、法、華、を、
ま、り、し、常、教、の、童、を、元、來、定、命、の、福、麻、
り、し、ま、り、し、の、法、を、ま、り、し、ま、り、し、由、り、
ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、
ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、
ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、

常山 性理の事

ある常山の境、河、性古、松谷、と、流、
て、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、
ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、

里、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、
河、性古、松谷、と、流、
て、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、

中、教、等、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、
各、中、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、
ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、ま、り、し、

元三抄ノ付百部ノ御書ニテ
書物ノ一ニテ(御書)ノ一ノ本ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書
御書ノ御書ノ御書ノ御書ノ御書

元三抄

上紙共三拾五枚

